

🌸 3月の目標 🌸

宮の森こども園

3月園だより

令和3年2月26日

- 進級への期待から、自信を持って活動に取り組む
- 身の回りのことを自分でできるようになる



まだまだ寒い日が続いています。三寒四温といって、三日寒い日が続いたあとに四日くらい暖かい日が続き、これをくり返しながらか春に近づいていきます。日足が伸びて、徐々に夕方でも明るくなってきました。あちらこちらで春の兆しを感じるようになり、春が待ち遠しく心がうきうきしてきます。もうじき渡り鳥が編隊を組んで空を飛ぶ姿が見られるようになると、春がすぐそこまでやってきているのを感じます。卒園・進級・入学と忙しい時期になります。子ども達も一つお兄ちゃんお姉ちゃんになりますね。今は先輩の

してきたことをしっかり覚えて後輩に繋げてくれることを期待します。

3月の行事

- 2日(火) 集会
- 3日(水) ひな祭り
- 10日(水) 体育あそび
- 16日(火) お別れ会
- 17日(水) 体育あそび
- 22日(月) 英語と遊ぼう・避難訓練
- 24日(水) 卒園式総練習
- 27日(土) 卒園式
- 31日(水) 修了式

“ウイルスをやっつけろ”

ウイルスは弱った鼻や気管支の粘膜に付着して感染します。適度な運動で気管支を強くすることは、感染予防の一つになります。のびのびと元気に体を動かして、思い切り遊びを楽しむことが健康への第1歩ですね。



卒園式について



3月27日(土)は、年長児(こぶし組)の卒園式です。出席者については、今年度も保護者2名と入園していない乳幼児とさせていただきます。従来は、来賓の方々や4才児(さくら組)など大勢の方達に祝福されての卒園式ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年同様、出席者を限定して行いますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

なお、当日は通常保育は行いませんのでご了承下さい。来年は通常の行事が行える年になって欲しいと、心から願っています。



せんせいと
おともだち



**えいごと遊ぼう
の一コマ**
音楽に合わせて体のパーツに触れ、体全体を動かしながら「えいご」で歌います。ジェイク先生の絶妙な話術に子ども達も引き付けられ楽しい「えいご」の時間を過ごしていました。

体育あそびの 一コマ

月2回の体育あそび。指導者の伊藤先生は縄跳び・鉄棒・マット・ボール・跳び箱と、年齢や子ども達一人ひとりの成長に合わせたプログラムで指導をしてくれています。体育あそび3年目の年長児になると、縄跳びでは前跳び、後ろ飛び・前方クロス跳び・後方クロス跳びと徐々に難易度が上がっていきます。卒園の頃になると3年間の体育遊びで培った成長が見られます。



ひな壇を飾りました

先日の夕方、3月3日のひな祭りを前に「ひな壇」を飾っているとお迎えに来たお母さんと一緒に飾り終えるまで帰らずに見守ってくれる子がいました。次の日からは何故か、ひな壇に向かいきちんと正座をしてお参りをしている子の姿も。その後ろ姿が小さくてとてもかわいい光景でした。

子どもの発達(感性と表現)

“豊かな環境から感性が生まれ、気持ちを表現できるように”

生まれた時から備わっている視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚の五感覚は、周囲との接触によって次第に育っていきます。子どもの感性を豊かにするには、直接的な経験を通して、様々な感覚を育むことが大切です。

私たち保育士も身近な環境を豊かにし、子どもと一緒に感覚を味わい、「雪は白くてきれいね」「冷たい風が吹いているね」など、子どものイメージが膨らみ、感性が豊になるような言葉がけをしています。3歳以上になると、感じたことや考えたことを言葉で伝えたり、作ったり、描いたりして、自分なりに表現するようになります。

自分の気持ちを表現することで友だちとの関わりが深まり、友だちとの表現活動を楽しみ、表現方法に工夫が見られるようになります。

私たち大人も常に感性を磨き、共感するようにはじめてみてはいかがでしょうか。